

世田谷プラットフォーム中長期計画 ロードマップ

ビジョン1 【文化・芸術・教育】

世田谷の歴史・文化・芸術への理解・関心を高めるとともに、世田谷区内にある大学の教育リソースを提供することで、学びの場である地域の好感度醸成を図り、世田谷ブランドの向上を目指す。

ビジョン2 【地域活性】

地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街“世田谷”」の実現を目指す。

ビジョン3 【産業】

産学官の連携体制を構築し、新たな商品開発や区内における就労及び起業の促進をはかり、区内産業の活性化を目指す。

ビジョン4 【国際化】

東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応の向上による世田谷の魅力度上昇を目指す。

ビジョン5 【大学等の連携】

世田谷区内にある大学等が連携を強化し、学生の成長の支援体制を強化するとともに、世田谷区で学ぶことの魅力向上を目指す。また、区外の大学等とも連携を図り、世田谷区内にある知財を地方に波及させることを目指す。

■上段数値：各大学が独自で実施している取組の件数（6大学の合計値）

■下段数値：上記の内、世田谷PFの活動としての取組件数

	課 題	取 組	活動指標	実績	数値目標					達成目標
				2017	2018	2019	2020	2021	2022	
1 文化・芸術・教育	1-1 今後も人口増加・住民の多様化が予想される世田谷区において、幅広い年齢層や地域のニーズに合わせた教育の提供が求められているが、その機会が不足している	高等教育の提供	公開講座等提供件数（eラーニング含む）	306件 (6)	310件 (11)	315件 (12)	320件 (13)	330件 (14)	340件 (15)	大学の幅広い知財を地域住民に提供する機会を増やし、様々なニーズに合わせた教育を実施する
			eラーニングによる講座提供件数	6件 (6)	7件 (7)	8件 (8)	9件 (9)	10件 (10)	11件 (11)	
	1-2 大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実をはかる必要があるが、その連携が不十分である	区内小中学校等への教育活動支援	教育支援活動を実施した小中学校数	59校 (59)	60校 (60)	62校 (62)	64校 (64)	66校 (66)	68校 (68)	大学がもつ高度で専門的な教育資源の活用による、小中学校等における教育活動の充実
			学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援派遣者数（世田谷区「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」と連携）	75名 (0)	75名 (75)	75名 (75)	75名 (75)	75名 (75)	75名 (75)	
1-3 乳幼児期から文化・芸術にふれることは、想像力と創造性を育み、多様な価値観を受け入れることが期待される一方で、それらは限られた環境の子どもにしか提供されていない	乳幼児及び保護者への支援の推進	乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動の実施件数	10件 (0)	10件 (10)	10件 (10)	10件 (10)	10件 (10)	10件 (10)	文化・芸術・教育に関わる機会の提供及び乳幼児の情操教育への寄与	
1-4 文化・芸術活動等は、障がい者が生きがいや社会参加に寄与するために必要であるが、その支援活動が不足している	障がい者支援の推進	障がい者支援活動及びその啓発活動の実施件数	13件 (0)	13件 (13)	13件 (13)	13件 (13)	13件 (13)	13件 (13)	障がい者支援活動機会の充実	
2 地域活性	2-1 近隣同士の付き合いや地域での繋がりが希薄になっているため、地域振興や交流イベントの機会が求められている	地域振興・交流イベントの推進	イベントの開催・協力件数	80件 (0)	85件 (10)	90件 (12)	95件 (14)	100件 (16)	105件 (18)	地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街世田谷」の実現
	2-2 防災教育や指導等が区内に滞在する人々に対して十分な準備が整えられていない	防災教育の推進	防災教育の参加者数	13000名 (0)	14000名 (4010)	15000名 (4020)	16000名 (4030)	17000名 (4040)	18000名 (4050)	

	課 題	取 組	活動指標	実績	数値目標					達成目標
				2017	2018	2019	2020	2021	2022	
3 産 業	3-1 世田谷区内の産業界に従事する若年層が多いため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない	企業との連携推進	区内産業界へのインターンシップ参加者数	144名 (0)	150名 (150)	160名 (160)	170名 (170)	180名 (180)	190名 (190)	産学官の連携体制を構築し、区内における就労及び新たな商品開発や起業の促進をはかることにより、区内産業を活性化
			区内への就業者数	131名 (0)	140名 (140)	150名 (150)	160名 (160)	170名 (170)	180名 (180)	
	3-2 区内産業を活性化するための教育プログラム（リカレント教育）が提供されていない		社会人向け教育プログラム数	-	検討	試行	実施			
4 国 際 化	4-1 東京オリンピック・パラリンピックに向けてアメリカのホストタウンとして区内での国際化対応を推進する必要がある。	国際感覚の醸成	国際化推進イベント参画・協力件数	42件 (0)	43件 (43)	44件 (44)	45件 (45)	46件 (46)	47件 (47)	東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応による世田谷の魅力度の向上
5 大 学 等 の 連 携	5-1 個別の大学の取組みのみでなく、各大学のFD・SD活動を共有あるいは共同開催することで、効率的な教育改革あるいは大学改革を推進する必要がある	PF形成校（大学・高専）の連携強化	共同FD・SD開催件数	2件 (2)	2件 (2)	2件 (2)	2件 (2)	2件 (2)	6件 (6)	教育力の向上並びにスタッフ能力の開発により、世田谷区内大学の価値を高める
	5-2 自大学に無い科目の提供や環境の異なる大学で学ぶことにより、学生の学修意欲を高める必要がある		共同の単位互換科目数	-	検討	試行	実施			世田谷PF内で単位互換を活用しやすい仕組みを構築するとともに単位互換科目数の増加する
	5-3 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進することにより、世田谷PFの活性化並びに大学間の教育研究等の連携強化を図る必要がある		共同利用が可能な施設・設備登録数	6件 (6)	8件 (8)	12件 (12)	14件 (14)	16件 (16)	18件 (18)	各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進する
	5-4 世田谷区内にある13大学の内、現在参画しているのは6大学であり、区内外の参加校数を増やし、より世田谷PFを充実する必要がある		参加校（大学・高専）数	6校	8校	9校	10校	11校	13校	区内外への参加を呼びかけ、参加校を増やし、世田谷PFの効果を高める
	5-5 世田谷PF形成大学等において、共同のニーズ調査や高校訪問、説明会、広報（Webサイトやパンフレット等）活動を行い、世田谷区で学ぶことの魅力を高めていく必要がある		共同学生募集活動件数	8件 (8)	8件 (8)	8件 (8)	8件 (8)	8件 (8)	8件 (8)	世田谷PF形成大学の知名度を高め、世田谷で学ぶ魅力を伝えるために、共同学生募集活動を推進する
	5-6 世田谷PF形成大学等において、地域課題の解決等に向けた共同のボランティア体制が整備されていない		学生ボランティア派遣件数 （世田谷区「ボランティア事業」との連携）	-	検討	試行	実施			ボランティア体制の充実

世田谷PF中長期計画実施体制

下記①と②が連携し、中長期計画の取り組み実施を推進する。

①各部会

- FD・SD部会（部会長：国士舘大学）
- リスクマネジメント部会（部会長：国士舘大学）
- 入試広報部会（部会長：駒澤大学）
- IR部会（部会長：駒澤大学）
- 学生プロジェクト部会（部会長：昭和女子大学）
- キャリア部会（部会長：東京都市大学）
- ホームページ部会（部会長：東京都市大学）

②ビジョンプロジェクト【○：担当、△：協力】

PJ	取組	NO	国士舘	駒澤	昭和女子	成城	東京農業	東京都市	PJ責任者
PJ1	1-1 高等教育の提供（eカレッジ）	①	○	○	○	○	○	○	国士舘大学 東京都市大学
	1-2 区内小中学校等への教育活動支援	②	○	○	△	△	△	○	
	1-3 乳幼児及び保護者への支援の推進	③	△	○	△	△	△	○	
	1-4 障がい者支援の推進	④	△	○	△	△	△	○	
PJ2	2-1 地域振興・交流イベントの推進	⑤	○	○	○	△	△	○	国士舘大学 駒澤大学
	2-2 防災教育の推進	⑥	○	○	△	△	△	○	
PJ3	3-1 企業との連携推進 （インターンシップ、就職）	⑦	○	○	△	○	△	○	成城大学 東京都市大学
	3-2 企業との連携推進 （社会人向け教育プログラム）	⑧	△	○	△	△	△	○	
PJ4	4-1 国際感覚の醸成	⑨	○	○	△	△	△	○	東京都市大学
PJ5	5-1 FD・SD	⑩	○	○	△	○	△	○	駒澤大学 東京都市大学
	5-2 単位互換	⑪	○	○	△	△	△	○	
	5-3 施設の共同利用	⑫	○	○	△	△	△	○	
	5-4 世田谷PFへの参加大学等の増加	⑬	○	○	△	△	△	○	
	5-5 共同学生募集	⑭	○	○	○	○	○	○	
	5-6 学生ボランティア	⑮	○	○	△	△	△	○	